令和８年度 地域密着型DX支援事業 勉強会

「ビジネスゲームで学ぶDX」

あきた企業活性化センターでは、県内企業の変革を促す「地域密着型DX伴走支援事業」を展開中だ。令和8年度の支援を受ける企業を中心に、製造業や卸・小売業など6社16名が集結。課題解決に向けた体験型ワークショップが開催された。

講師を務めたのは株式会社DX経営研究所の中尾克代氏と澁谷裕以氏。今回の体験型ワークショップに採用した「トータル・オプトゲーム」は、架空の家具メーカーを舞台に、営業・物流・製造・購買の4部門が連携し、会社全体の利益を最大化することを目指すビジネスゲームだ。ゲームを通じて、各部門が自部門の目標だけを追うのではなく、納期や生産能力、在庫、在庫管理コストなどを考慮し、部門間で連携して意思決定することの重要性を疑似体験した。









最初は手探りで戸惑っていた参加者たちも期を重ねるごとに熱を帯び、活発に意見を交わす姿が見られた。最後の決算発表では両チームとも大いに盛り上がり、部門を超えたコミュニケーションの大切さをゲームを通じて体感する機会となった。

参加者の声



有限会社 鈴和商店

代表取締役社長 鈴木 昌幸 さん

社内の業務やノウハウの属人化を解消し、業務全体を可視化するためにDX導入支援を受けた結果、昨年10月にDX認定をいただきました。導入後は業務効率化が進み、在庫管理システムの改善や事務業務プロセスの見直しによって残業月4時間以内を達成、新しい取組へ充てる時間の創出など、大きな成果を実感しています。

DX推進に大切なのは経営者の覚悟と、社員を気遣う思いやりです。今回のゲームを通じ、業種は違っても抱える課題の本質は同じだと実感しました。部署や企業を超えたコミュニケーションの重要性を改めて再認識する良い契機となりました。自社の変革を確かなものにしつつ、こうした学びの輪が広がり、地域の企業全体が活気づいていくことを願っています。

有限会社 鈴和商店
〒010-0001
秋田市中通6丁目16-7
TEL:018-832-5924
FAX:018-832-9070
https://www.mame.co.jp/
ＨＰ

令和８年度 あきたモノづくり商談会

「モノづくり」企業が一堂に集結　取引拡大を促進

10月7日、ANAクラウンプラザホテル秋田にて「令和8年度 あきたモノづくり商談会」が開催された。今年は発注企業82社（うち県内19社）、受注企業133社（うち県内69社）、合計215社351名が参加。昨年よりも発注企業の数が増え、商談スペースも拡大。活気あふれる商談が繰り広げられた。

本商談会は、秋田県内の製造業の取引を増やすことを目的として、当センターが主体となり開催してきた。県内・県外のモノづくり企業にとっては年に一度の県内最大の商談イベントとなっている。





この商談会は非鉄金属、鉄鋼、板金、製缶、機械加工、電気機器、樹脂、ゴム、機械設計などが対象業種となっている。会場では全国各地から参加している発注企業と県内の受注企業が事前の希望を基に面談スケジュールが組まれ、1コマ20分間の商談が合計620回実施された。各テーブルでは発注者側からの発注内容の説明のほか、業界内の情報交換なども行われ、会場は新たなビジネスチャンスを狙って活発なやりとりが行われた。









参加者の声



小林テック 株式会社

係長 眞坂 毅 さん（写真左）／専任マネージャー 佐藤 和善 さん（写真右）

当社は精密加工技術を中心に、セラミックスや磁性材、金属など多様な素材に対応しているモノづくり企業です。こちらの商談会にはこれまでも参加していますが、さまざまな企業にお会いして商談する機会を得られるので大変ありがたいです。発注企業の方からは、単品加工ができるか、逆に大量生産には対応できるかというご質問をよくいただきますね。技術的な面では、具体的なご質問をいただくことも多いです。また、普段お会いできないお客様にもこの場でご挨拶できますし、同業者とも情報交換ができ、非常に有意義な機会です。

小林テック 株式会社
〒015-0411
由利本荘市矢島町城内字沖小田429
TEL:0184-56-2094　FAX:0184-56-2894
https://ktech.co.jp/
ＨＰ

［お問い合わせ］総合企画部 総合相談課　TEL.018-860-5610

［お問い合わせ］経営支援部 取引振興課　TEL.018-860-5623